



平成 19 年 8 月 31 日

各 位

会社名 ウィンテスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 奈良 彰治
(コード番号 6721 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役
開発、営業担当 樋口 真康
電話番号 045 - 317 - 7888

業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績並びに取り巻く環境等を踏まえ、平成 19 年 6 月 15 日に発表しました平成 19 年 7 月期（平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正致しましたので、お知らせします。

記

1. 平成 19 年 7 月期の業績予想数値の修正(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	927 百万円	229 百万円	198 百万円
今回修正予想 (B)	941 百万円	162 百万円	454 百万円
増減額 (B - A)	14 百万円	66 百万円	256 百万円
増減率 (%)	1.5%	-	-
(ご参考) 前期実績	869 百万円	205 百万円	325 百万円

2. 修正の理由

平成 19 年 7 月期の通期業績予想につきましては次のとおり修正いたします。

売上高につきましては、既存顧客からのリピートオーダーが堅調に推移し、当初の予想数値を 14 百万円上回る見込みとなりました。

経常損失につきましては、棚卸資産のうち仕様等の変更により販売が困難になった検査装置用テストヘッド等の評価損を営業外費用として計上する予定でしたが、多額であるため特別損失として計上したため、予想数値から 66 百万円減少いたしました。

当期純損失につきましては、平成 18 年 7 月 31 日に受注のお知らせを発表いたしました新規顧客からのイメージセンサー用検査装置が、開発遅延により販売できなくなったことから、その仕掛品につきまして棚卸資産評価損として 224 百万円を計上する見込みとなりました。

これに加え、固定資産の一部につきましては、今後の使用頻度を勘案し固定資産除却損 32 百万円を計上する見込みとなりました。

以上により当期純損失につきましては、予想数値から 256 百万円増加いたしました。

- * 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの業績見通しとは異なる場合があります。

以上